

[検索](#) / [新着情報](#) / [このサイトのご利用について](#) / [サイトマップ](#)[TOP](#) > [教育改革・教育全般](#) > [県立高校将来構想](#) > 第5章

平成16年4月1日更新 / 高校教育課

県立高校将来構想

第5章 男女共学化の推進

未来の高校生にとっての教育環境はどうあるべきかといった視点に立って男女別学・共学を考えた場合、高校生という多感な時期に、男女が共に学び、理解し、成長し合う場を日常的に設けることが教育環境として望ましいこと、社会の在り方の反映である学校においては、男女が別々に学ぶよりも共に学ぶ方が自然であること、さらに県民の負担で設置されている県立高校においては、性差による入学制限を設けることは好ましくないことなどの理由から、男女共学がより望ましいものと考えられます。

また、平成11年9月に、本県が独自にまとめた調査によれば、高校の共学化に対しては、全体として7割弱が「賛成」あるいは「どちらかという賛成」であり、「反対」は数パーセントという結果が出ています。

このような考え方や調査結果を踏まえ、具体的には次の方針で男女共学化を進めていきます。

男女共学化の推進についての基本方針

・男女別学校については、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、全て男女共学化を推進します。

角田高校、角田女子高校、築館高校、築館女子高校、気仙沼高校、鼎が浦高校、矢本高校は、再編に伴い男女共学となりますが、この他の男女別学校についても、関係者の理解を得ながら、順次男女共学化を進めていきます。

[次へ](#)

[▲ページのトップへ戻る](#)

このページに関する問合せは 教育庁高校教育課改革推進班へ

E-mail: kokai@pref.miyagi.jp

電話: 022-211-3711 / FAX: 022-211-3696

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1